

公立大学法人 長野大学 理事会 議事録

日 時：令和5年11月29日（水） 9：30～11：30

場 所：長野大学 4-304会議室

出席者：平井利博（議長）、小林淳一、織 英子、塚田國之、前田裕子、金子義幸、熊谷圭介、山浦和彦、市村和久、金子和寛（監事）、柳原 渉（監事）

欠席者：なし

議事概要

1 議事録

（1）前回（10月25日理事会）会議録の確認

事前に配信した議事録案の確認を求めたところ、特段の指摘事項がなかったことから、議事録を確定した。

（2）議事録署名人の指名

議長から議事録署名人として、熊谷理事、山浦理事が指名された。

（3）長野県知事との懇談に関する報告

小林学長から、11月27日に長野県庁で行われた、県知事と県内11大学学長による懇談会の報告があった。「女性・若者から選ばれる県にするには」というテーマでの懇談であり、本学は、地域との連携（地域協働型教育が根付いていること）により地元定着率に一定の成果を上げていることを報告するとともに、新たな理工系学部の設置に関して県の協力をお願いしたことが説明された。

2 審議事項

議案第1号 令和5年度第1回補正予算について

市村常任理事から、令和5年度第1回補正予算について説明があり、質疑の結果、以下の点を修正して承認された。

・資料4頁の收支概要のうち、項目名「増減額」は「補正額」に「補正予算」は「補正後予算額」にそれぞれ修正する。

なお、基金を取崩さない方法があるのではないかとの指摘があったが、提案のとおり基金を取り崩して編成することが確認された。

議案第2号 令和6年度教員の採用について（理工系学部所属教員）

小林学長から、理工系新学部（環境情報科学部（仮称））において基幹的な役割を担う教員3名の採用について提案・説明があり、原案どおり承認された。なお、特別人事委員会における審議の際に指摘のあった教員の年齢についての課題（高齢者の採用について）は、特任教員として「理事長が特に認めた場合」にはクリアされることも併せて説明された。本説明に対し、例外規定の適用が恣意的にならないよう、例外事由（たとえば大型プロジェクト（外部資金）の獲得がある場合など）の標準化ができないかとの指摘があった。

また、在籍教員とのつながりで人材が確保されることに対し、実績と身元の把握が容易で一定期間の定着が期待できる反面、業務が属人的になる（個人に依拠してしまう）との懸念が示されたが、地方の小規模大学は、そういう繋がりにより教員を確保せざるを得ないのが現実であり、その点は折り合いを付けながら対応していくことを確認した。

議案第3号 令和6年度教員の採用について（社会福祉学部所属教員）

小林学長から、社会福祉学部の教員採用について提案・説明があり、原案どおり承認された。

また、当初採用を予定していた臨床心理学分野担当の候補者から辞退の申し出があったことが

併せて報告された。

議案第4号 令和6年度教員の採用について（環境ツーリズム学部所属教員）

小林学長から、環境ツーリズム学部の教員採用について提案・説明があり、原案どおり承認された。また、前回理事会において採用を決定した経済学分野担当の候補者から辞退の申し出があったことが併せて報告された。

採用候補者の辞退に対し理事長から、補充人事については科目が担当できれば誰でもよいということではなく、学部としてしっかり考えて対応するよう指示しているとの発言があった。

教員の人事に関しては、全般的に女性の比率に課題があることが改めて指摘され、新幹線通勤の新設や、家族帶同での赴任ができるような制度の導入なども考えなければ女性比率の向上が難しいとの指摘があった。

議案第5号 長野大学専任教員の増担手当に関する規程の段階的廃止について

菊池総務・人事・施設担当課長から、長野大学専任教員の増担手当に関する規程の一部改正と令和7年3月31日付での当該規程の廃止について説明があり、原案どおり就任された。

3 報告事項

（1）2024（令和6）年度入試実施状況【広報入試】

千住広報入試担当課長から、入試の実施状況について説明があった。なお、学校推薦型選抜の入試科目の見直し（入試科目に英語を加える事）について指摘があり、まずは一般選抜の前期・中期における個別学力試験の在り方の見直し検討を進めていることが説明され、入試全般の在り方については、**来年度中に協議し理事会に諮ることを確認した。**

（2）令和5年度 卒業予定者の進路内定状況【キャリアサポート】

平原キャリアサポート課長から、卒業予定者の内定状況について報告された。

（3）新棟建設工事 施設設備概要及び業者選定について【法人改革室】

中山事務局次長・法人改革室長から、11月17日に新棟建設工事の業者（共同企業体）を選定したことが報告された。

報告に対し、既存の階段教室がなくなることの影響の有無について指摘があり、新棟において同規模の教室を設けることから対応可能との回答があった。

また、発注支援に引き続き、発注者側の立場に立って適切な工事を進められるよう、今後もCM業者である佐藤総合計画にかかわってもらう必要があることが指摘され、これに対し引き続き助言をいただくとともに、仕様書に則った設計施工が的確に行われているか精査を行う予定であることのほか、総合評価審査委員会の委員長にも引き続き関与いただく予定であることが説明された。

入札額と予定価格との差額については、備品の調達に充てる予定であることが報告されたが、一方で、今後建設資材・人件費の高騰や、解体時のアスベスト発生リスクなども考慮すると、増額の可能性も視野に入れざるを得ないという指摘もあった。

（4）長野大学教育改革シンポジウムの開催報告【法人改革室】

中山事務局次長・法人改革室長から、11月26日（日）に開催された教育改革シンポジウムの開催報告及び参加者アンケートの内容について報告された。

（5）令和5年度予算執行状況報告【経営企画財務】

廣瀬経営・企画・財務担当課長から、第2四半期末の予算執行状況について報告された。

（6）研究不正の防止に向けた取組（コンプライアンス教育）

市村常任理事から、研究不正の防止に向けた取組として、神奈川大学における研究不正事例（カラ雇用事例）が報告された。

4 その他

監事からのコメントは特になし

以上

次回開催日 令和5年12月20日（水）

議長 平井 利博

印

理事 小林 淳一

印

理事 市村 和久

印